

" 花療法 "

クリスタルブーケ
フラワーエッセンス

～お花で癒されるワケ～



フラワーエッセンス



「フラワーエッセンス」を直訳すれば、「**花の本質・真髄**」といえます。

自然界の「お花」のエネルギーを水に転写したもので、「**花の波動水**」といわれています。

お花が私たちの心を癒し、整えてくれる "花療法"

あなたの中に溜まってしまった
小さなネガティブから
ネガティブの原点のエネルギーまで
癒してくれます。

人間は昔から
「**花の癒しの力**」を感じ、
利用してきました。



私たちは、日常で疲れた時、無意識的に自然の中に行きたくなり
なります。

自然の中で癒され、元気を取り戻したりします。

そして、大切な行事の時、お花を飾ります。

お祝い事の楽しい時も、悲しみの時も…

無機質なお部屋に一凜のお花があるだけでお部屋の空気感が
変わり、なぜかホッとしたり、笑顔がこぼれたりします。

なぜそんなふうを感じるのでしょうか？

個性的な色や形からでしょうか？

蕾から咲きだす時間の経過に感情が動かされるからでしょうか？

確かに、咲きだして、開いていく時間の流れに喜びやうれしさを感じ、未来を感じます。

木々が生い茂っている自然はまた違う時間の流れがあります。

どちらにしても、自然界はそれぞれが個性的で、私たち人間が産まれた時すでにあった。

いつからあったのだろうか？

遠い昔に思いをはせていくと果てしない昔までさかのぼっていくのです。

花と人類の歴史

約1億6200万年前…

中国でジュラ紀の花の化石が発見されました。
(最古の花の化石と言われています。)

ジュラ紀は現在よりも暖かく、降水量も多く、湿度も高かった。
そのため、植物・動物はともに種類が増え、大型化していきました。
植物ではイチョウ、ソテツなどの裸子植物が大きく繁栄し、
それまで植物がなかった内陸部まで生育範囲を広げて
いきました。

約1億2500万年前…

中国で白亜紀の花の化石が発見されました。

約1億万年前…

被子植物（花を咲かせる植物）が現れます。

人類が地球上に現れるずっと前から、
地球は植物や花に覆われていたと思われています。

約1700万年前…

ヒト科の大型のサル出現。

約600～500万年前…

より人間に近いヒト亜科と区別される動物が出現。

より大きな脳を持ち、楽々と二足歩行ができるようになった霊長類で、人類に祖先と目されています。

私たちの祖先と思われれます。

現代…

自然の中に入っていくと、
緑の中の花の色や形の個性的な姿に魅せられます。



そしてそこには、
木々やお花だけではなく、コケやシダ類、きのこ類が
脈々と生きています。

自然界はそれらすべてを含めた存在だったのです。

コケやシダ類はお花より古く、きのこのことを調べていく
と、それよりも遠い昔へさかのぼっていくことになりま
す。

さかのぼっていくと…

21億年前、人ときのこの共通祖先となる生物「真核生物」が誕生とあります。

なんと、それからとてつもなく長い年月を経て枝分かれして、それぞれが進化して今のよう地球になったのです。

とてつもなく広く考えたら、きのこも人間もお花も地球で生きている仲間のようなものです。

自然界やお花は人を癒してくれる
ありがたい存在で、
大切な存在なのです。

「フラワーエッセンス」

1936年に英国の医師で、細菌学者、病理学者でもあった、エドワード・バッチ博士によって開発されました。

バッチ博士は、患者さんの訴えに耳を傾けているうちに、従来の診断法・治療法だけでは不十分ではないかと考えるようになり、独自のシステムを開発しようと決意。

様々な試行錯誤の末に出来上がりました。

植物やお花の力で、人間の心を癒し、整えていく"花療法"

20年以上にわたる治療経験と、研究の結果たどり着いたのが、人間の持つ感情や性格のパターンを38種類に分類し、それぞれの感情を癒す38種類のお花を次々に発見していきました。

バッチ博士曰く…

「心に心配や不安・トラウマなどが無く、感情のバランスがとれていれば、病気になる事もなく身体の健康にも繋がり、幸せな人生が送れる」

" 花療法 "

クリスタルブーケ フラワーエッセンス

～お花で癒されるワケ～

このプログラムのコンテンツは
あなたご自身の幸せのために役立てることを
限定に提供しています。

無断で複製し、転売、転載、配布等どんな手段でも、
一般に提供することを禁止します。



2021.1.8.

著作・発行 / 大坂秀子